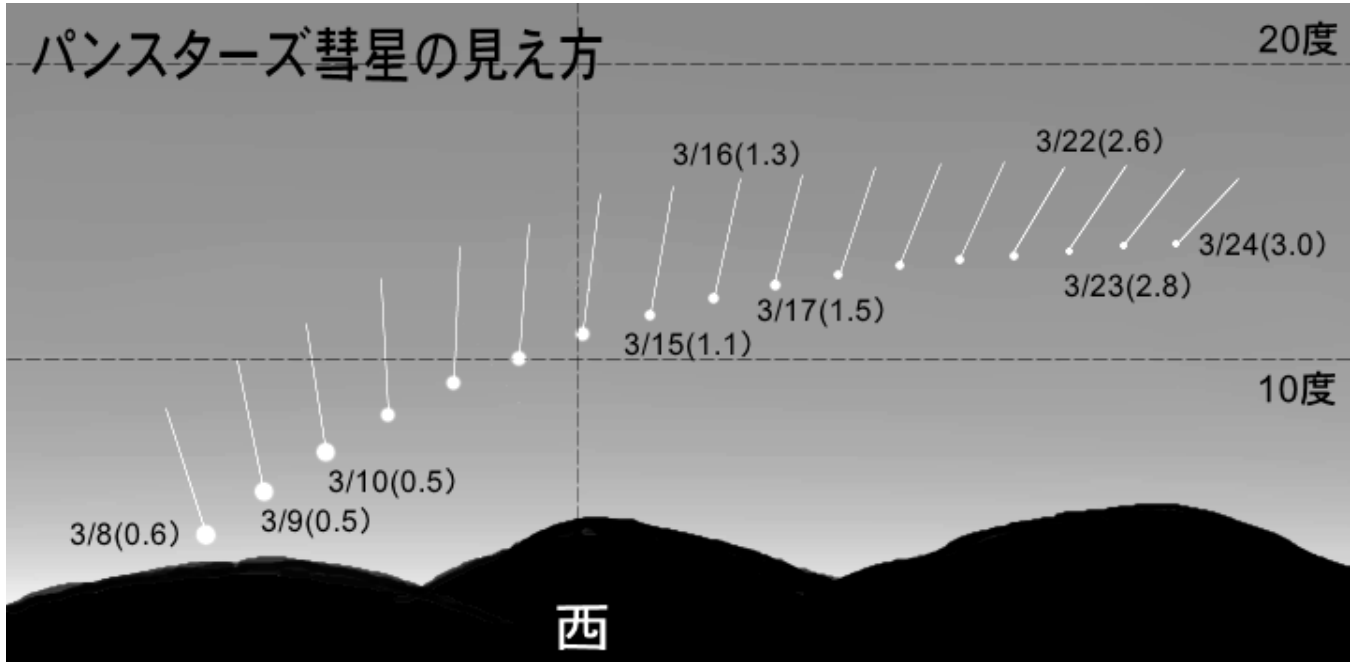


# パンスタース彗星を見よう



上記の図は、各日の 18:30 ごろの見え方。かっこの中は 3 月上旬の時点で予想されている明るさです。

パンスタース彗星のデータ（阿南） ※各データは 3 月 3 日国際天文学連合発表のものを使用

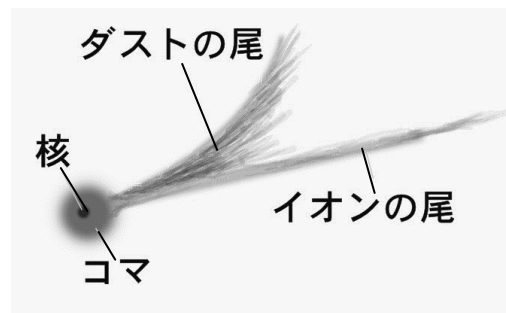
	日没時間	彗星没時間	明るさ	日没時の彗星高度	日没時の方位角
3 月 8 日 (金)	18:04	18:49	0.6	8.5	72.4 度
3 月 9 日 (土)	18:05	18:57	0.5	9.9	74.5 度
3 月 10 日 (日)	18:05	19:04	0.5	11.4	76.7 度
3 月 11 日 (月)	18:06	19:10	0.5	12.6	79.1 度
3 月 12 日 (火)	18:07	19:16	0.6	13.6	81.7 度
3 月 13 日 (水)	18:08	19:21	0.7	14.4	84.3 度
3 月 14 日 (木)	18:09	19:25	0.9	15.1	86.9 度
3 月 15 日 (金)	18:09	19:29	1.1	15.8	89.3 度 (真西)
3 月 16 日 (土)	18:10	19:32	1.3	16.1	91.9 度
3 月 17 日 (日)	18:11	19:35	1.5	16.4	94.4 度
3 月 18 日 (月)	18:12	19:37	1.7	16.6	96.9 度
3 月 19 日 (火)	18:12	19:39	1.9	16.8	99.2 度
3 月 20 日 (水)	18:13	19:41	2.1	16.8	101.6 度
3 月 21 日 (木)	18:14	19:43	2.3	16.7	103.8 度
3 月 22 日 (金)	18:15	19:45	2.6	16.6	106.1 度
3 月 23 日 (土)	18:16	19:46	2.8	16.5	108.2 度
3 月 24 日 (日)	18:16	19:48	3.0	16.5	110.2 度

## ○パンスタース彗星って？

パンスタース彗星は、2011年の6月にアメリカのハワイ州、マウイ島に設置されたパンスタース望遠鏡によって発見された彗星で、英語表記だと Comet Pan-STARRS となります。彗星の名前は、一般的に発見者や発見した観測所や研究チームの名前が付けられるのですが、この彗星は観測プロジェクトに使われる望遠鏡システム（Panoramic Survey Telescope And Rapid Response System）から名前が付けられています。

## ○彗星とは？

彗星は、よく汚れた雪玉と言われるように、岩石や金属質の細かい物質を含んだ氷のかたまりだと言われています。彗星の中心部には、岩石質の核があり、その核から噴出するガスによって、まわりに、星雲状のコマができます。また、彗星が火星の軌道より外にいるときには、まだその尾は作られません。太陽に近づくとつれて、だんだんしっぽが作られるようになります。



さて、彗星のトレードマークとも言えるしっぽは、よく見てみると2種類あることに気づきます。ひとつは青いしっぽ、そしてもうひとつは、少し黄色みがかかったしっぽです。これらは、それぞれ、青いのがイオンの尾（イオンテイル）、黄色っぽいのがダストの尾（ダストテイル）と呼ばれ、イオンの尾は、通常太陽の反対側にまっすぐ伸びた形で見られます。また、ダストの尾は、イオンの尾と同じく太陽と逆方向に出ますが、彗星の中に含まれる岩石などが噴出して作られるしっぽですから、イオンと比べると重く移動するスピードも遅いため、彗星の進行方向と逆の方向に少し曲がって見えます。

## ○当初、肉眼彗星になると予想されていたパンスタース彗星

この彗星は、今から2年近く前、木星軌道よりも外側で発見されました。軌道がすでに確定している彗星と違って、まったく新しい彗星が太陽に最接近する2年も前に見つかるのは大変めずらしいことです。これは彗星本体がたいへん大きいことを意味しています。この彗星のように、遠くで見つかった彗星と言えば、1997年に地球に接近したハールボップ彗星が代表的です。ハールボップ彗星も木星軌道よりも外で見つかり、地球



最接近の頃には、明るさがマイナス1等～2等級で、3月の夕方の空に見事な姿を見せてくれました。

ハールボップ彗星と同様、このパンスタース彗星もその大きさから、最接近時にはマイナス等級の彗星となると予想されていましたが、初めて太陽に接近する彗星というのは、明るさ予想が難しく、暗い方に大きく外れたり、逆に予想外に明るくなったりすることがあります。パンスタース彗星は残念ながら当初の予想のようにマイナス等級にはならず、3月3日現在、明るくなくても1等級前後と見積もられています。それでも、1等級の彗星といえば明るい部類にはいりますので、10倍程度の双眼鏡で簡単に見つけることができるでしょう。